

## 令和6年度（探究生物） シラバス

教 科	理科	科 目	探究生物		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文系
教 科 書	i 版生物基礎（啓林館）		副教材	大学入学共通テスト対策チェック&演習生物基礎（数研出版）	
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				

### 授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	序章 探究活動の進め方 第1部 生物の特徴 1章 生物の特徴 第2部 遺伝子とその働き 2章 遺伝子とその働き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すべての生物に見られる共通な特徴を理解する。</li> <li>・生物の体の基本単位である細胞の構造について理解する。</li> <li>・DNAにはどのような特徴があるのか理解する。</li> <li>・遺伝情報からどのようにしてタンパク質がつくられるのか理解する。</li> </ul>
2 学期	第3部 ヒトの体の調節 3章 神経系と内分泌系による調節 4章 免疫 第4部 生物の多様性と生態系 5章 植生と遷移 6章 生態系とその保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒトの体内環境の変化に応じて、どのようなしくみが働いて一定の状態に保たれるのか理解する。</li> <li>・ヒトの体は、病原体の侵入をどのようなしくみで防いでいるのか理解する。</li> <li>・植生と環境が、時間の経過とともにどのように移り変わっていくのか理解する。</li> <li>・人間活動が生態系に与える影響を理解し、どのようにすれば生態系を保全することができるのか理解する。</li> </ul>
3 学期	問題演習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容の定着と応用力を養う。</li> <li>・問題演習を行うことで理解力、応用力を高める。</li> </ul>

### 評価の観点及び内容、評価方法

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	・学習した生物の基本的な概念や原理が正しく理解できたか。	・定期考査
思考・判断・表現	・課題を遂行するにあたって科学的・論理的に思考し、判断しているか。	・定期考査
主体的に学習に取り組む態度	・生物や生物現象に対して主体的に関わり、理解しようとしているか。 ・観察や実験に主体的に取り組んでいる。	・小テスト ・ノートや課題 ・自己評価